２ 地理歴史・公民

学校番号	1101

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史Ｂα	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校 日本史Ｂ 新訂版」（清水書院）						
副教材等	「プロムナード日本史」（浜島書店）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２ 学習の到達目標

・我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
・我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
・国際社会に主体的に生きるに日本国民としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート・ノート 〔主題学習〕 振り返りシート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 ポスター	定期考査 〔主題学習〕 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="8">前期</td><td rowspan="4">原始・古代</td><td>1．日本文化の
あけぼの</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="4">a:古代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に研究している。
b: 古代国家の展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見出し、隋・唐など東アジア世界との関係を関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
c: 原始社会の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図などにまとめたりするなどしている。
d: 古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景および中世社会の萌芽についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係を関連付けて理解し、その知識を身につけている。</td><td rowspan="4">授業態度
提出課題
小テスト
ノート提出
定期考査</td></tr>
<tr><td>2．古代国家の
形成と東アジア</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3．律令国家の
成立と都城</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>4．古代国家の推移と
社会の変化</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">中世</td><td>1．古代から
中世社会へ</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="4">a: 中世国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に表現している。
b: 中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、東アジア世界との関係を関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
c: 中世社会の多様な展開と文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
d: 中世国家の成立と社会の仕組み、文化の特色とその成立過程についての基本的な事柄を、宋・元など東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身につけている。</td><td rowspan="4">授業態度
提出課題
小テスト
ノート提出
定期考査</td></tr>
<tr><td>2．武家政権の成立と
鎌倉文化</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>3．室町幕府と
北山文化</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>4．下剋上の社会と
庶民の台頭</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

後期	近世	１．中世から 近世社会へ		○			a: 幕藩体制の成立と社会や文化の特色に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追求している。 b: 近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みから課題を見いだし、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: 幕藩体制の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図にまとめたりしている。 d: 幕藩体制の動揺と変容、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、近代化の基礎の形成についての基本的な事柄を欧米諸国のアジア進出と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
		２．幕藩体制の成立と 国際関係	○					
		３．幕藩体制の展開と 元禄文化			○			
		４．幕藩体制の動揺と 化政文化				○		

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。